

2024年11月9日に開催された、市立ひらかた病院 新病院開院10周年記念イベント、ひら10フェスティバル（通称 ひら10）part3では“薬剤師体験”についてレポートします。レポーターは主任部長の三女です（笑）。主任部長の夫（某科外科医）が三女に付き添います。



お薬の調剤の過程を、お菓子（マーブルチョコやカントリーマームなど）で体験します。薬剤師体験のブースは、たくさんのバルーンで飾り付けされていて、本当に素敵でした。お写真は処方箋に書かれたお薬（お菓子）を、アクリルで仕切られたお薬箱から選ぶ作業を体験している三女です。学校の勉強も、これくらい熱心にやってほしいものです（笑）。

レポーター三女が言うには、選んだお薬が一包化されて機械から出てきたのが、一番楽しかったそうです。「がっちゃん、がっちゃん、お薬が袋に入って出てきたの。すごかった。」



マーブルチョコが一包化されて出てきました。娘は今でも大事に保管しています。

飲み薬（カルピス）の調剤は、目盛りを越えて多めに入れてしまったそうです。

ひら 10 には、子供さんがたくさん来てくれました。1 階の縁日コーナーやイベント広場は子供さんと、そのご両親で一杯でした（お写真は、バブリン先生のしゃぼん玉ショーです）。普段の市立ひらかた病院には、ご高齢の患者さんが多くいらっしゃるの、とても新鮮な気持ちになりました。最終的に 1,124 名の市民の皆様がひら 10 に参加して下さったとのことで、心より感謝申し上げます。主任部長の夫（某科外科医）も“手作り感満載で人の温かさが伝わる良いイベントやった”と感想を言ってくれました。ひら 10 に遊びに来てくれた子供さんの中から将来、医療従事者を目指すお子さんが一人でもいてくれたら嬉しいですね！

